

幸を有難いと思しめた。本堂の前で地区別の写真をうつし後、自由行動、偶然本庄地藏院の巡拝の方々と出会いお互に御挨拶をかわす。

昼食は市内の四国館八九番所とかかげである看板もユニフォームたつぷり。名物手打ちうどんを頂き早朝からの疲れをいやしほつとする。

七七番道隆寺、七八番郷照寺到着。石段の数も忘れる位長い坂を登りつめ本堂、お大師堂、この手前に万鉢観音を安置した洞窟があり大勢の人の信心深きに心を打たれた。傘を持たぬお参りに順調に進み高照院、国分寺、根香寺到着。山門からもみじ並木、紅葉すればさぞ見事であろうと思われ。参道にいつの間にか霧雨が降りうつ蒼とした木立の中、昇つたり降りたり百五十段位はあつたらうか、やつと本堂に着く。

この本堂の廻廊にも戦後の勸進による万鉢観音が奉安され感かを感じられる。寺門の横に牛鬼の銅像があり四百年前出沒する化物を千手観音にお祈りして退治した伝説があるとか。あと一寺で本日終了。道中今日泊りの坂出保養センターを横目で見ながら五色台連峰の一つ白峰台を登りつめた所に八一番白峯寺、御本尊千手観音。広い境内には崇徳天皇の廟所・頓証寺殿がある。

五時すぎ今日一日無事巡拝出来た事を感謝しながら宿泊所へ入る。五色台の上に位置するセンターは夜景がすばらしく港・瀬戸大橋の光が赤・青にきらめき、ミニ百万の眺めといつた所。

十二日八時三十分出発。全員元氣な顔。高岡総代の今日は観光もまじえて楽しくとの御挨拶のうちに早八三番一宅寺到着。次は四国村見学。最初のかづら橋で下は池、橋はゆるゆるで短い橋乍らつり橋を渡る恐さを体験し展示の旧民家の在りし日の生活を想像させる農具や苦労がにじみ出ている様式を見るにつけ、今の私共の生活がいかに感謝すべきものであるかを充分に思いしらされる一時であつた。

四国村を後に五剣山を左手に見ながら屋島寺へ到着。昼から今日最後の巡拝、八五番八栗寺へ向う、ケーブルで五剣山の中腹まで登り本尊弘法大師作といわれる聖観世音が安置される本堂へと参拝。四国霊場巡り最終のお寺となり全員心をこめてお経を唱える。

二つ目の観光。平家物語歴史館へと向い本物そっくりのろう人形で平家の栄華滅亡を再現した世界を見せてくれる。

四時高松港よりフェリーにて帰路につく。今回の企画には参加申込時よりとても楽しみにしており、お世話の方々に大変な事と感謝の念にたえません。身も心も清々しく明日から又元氣に頑張ろうと誓った霊場巡りの旅でした。

精進料理と 倉敷寺巡りに 参加して

高助 山本 喜世子

夜明け前から降り出した雨に、些か出鼻を挫かれた様な気持ちになった。大雨にならない様に祈り乍ら、バス二台に分乗して朝日寺を出発する。小雨のそぼ降る山陽路を、一路藤戸寺目指してひた走る。倉敷寺巡りは、藤戸寺、由加山連台寺、安養寺、行願院、龍昌院の五ヶ寺である。蓮台寺の参詣が終ると、ここで精進料理を頂く事になっている。

最近の食生活では、栄養のアンバランスが云われ、知らぬ間に成人病に近づいてしまつて居る様に思われる。この様な時に、精進料理を頂いて、少しでも、その長所を舌で覚えて帰りたいと思つた。一時間余りで藤戸寺へ到着。御住職より、藤戸寺に纏わるお話を伺つて、遠い昔の源平合戦に想いを馳せる。予定より早く由加山へ着く。道路事情がよいからである。雨の中を一段一段ゆつくりと厄除石段を登る。備前焼の大鳥居が私達を迎えて呉れる。ここは、由伽大権現、蓮台寺と、神仏混淆で一緒に祀りしてある。観音堂で般若心経を奉唱する。雨は一向に止む気配はない。昼食には一寸早いで、多宝塔のある所へと向う。桜の季節にはきつと美しいだろうな、と思いつた。塔の前へ出る。春まだ浅い児島は、雨に煙つて望遠はきかなくなつた。広場の一角に真田幸村顕彰の碑があつた。どんな関りがあるのか、お聞きして見たか。客殿は未だ修復中だつた。本坊で、この由来をお聞きする。円山心峯、尻海出身の柴田義董の絵など、一部を拝観してからいよいよ昼食である。光明殿、立派な建物で宿泊も可能とのこと、中へ入ると暖かく、冷えた体を優しく包み込んで呉れる。精進料理はとても美味しかった。

こんなにやくのお刺身、田楽、天ぷら、茶碗蒸し、白和え、と数々のお料理にすっかり心身共に暖まつた。味付けも薄味仕立て。つい我家の味付けと比較してしまふ。心して毎日の料理作りをしなれば、と思つた。温かいものは温かい様に配慮して下さつて居て、一層美味しく頂くことが出来た。十二時半出発。激しい雨となつて居る。お土産を山買つた人々、しっかりと抱えてバスに乗り込む。次は安養寺である。このお寺も裸まつりがあるはずだ。どんなお寺かと期待してバスを降りる。雨水はだらだら坂を小川の様に流れている。遠いと思つたら視界が開け大きな池が目に入る。池の中に朱塗りのお堂が、異国情緒を思わせる様に建つて居る。そしてお寺は、と見れば何と大きな毘沙門様が仁王門の上で頑張つて居る。近づくとその大きさに驚かされた。長い石段を息を弾ませ乍ら登る。安養寺には、毘沙門天を何体も一堂に安置してあつた。中へ入つて拝観する。じつと拝見すると、一体ずつお顔の表情が違う様に思つたのは私の気のせいだろうか。雨は一向に小降りにならない。おまわりをすませると大急ぎでバスに戻る。行願院、龍昌院共、安養寺から近い所にあつた。そして、この両院は殆どお隣り同志と云つた感じであり、共に新しく立派なお寺で感心してしまふ。お天気ならさぞかし見晴らしがよいのに残念である。龍昌院は保育園も併設して居られるとか、我家にも園児が居るので、御住職のお話に一段興味を覚える。生後三ヶ月から就学前までの百七十名のお子さんを預かつておられるとか。随分大きな保育園と感心する。御住職も大変に優しく円満なお方と思つた。この地もやはり源平合戦の縁の地であつた。予定の時間より早く巡拝は終つた。行願院、龍昌院からのお接待を有難く頂き帰途についた。一日中雨ではあつたが、心の豊かになる一日だつたと思う。午後四時半朝日寺へ無事帰着する。ようやく雨は止んだ。最後にこの『精進料理と倉敷寺巡り』のお世話を下さつた方々の御苦勞、本当に有難うございました。お寺巡りお大師様の甘露雨 喜世子 合掌

お大師様の道

中東 藤岡花子

平成二年の年が明けて今年こそ幸の年になります様に祈つておりましたある日のこと、突然に歩けなくなりました。あつて病院をまわりました。二週間位の間はお手洗も、廊下を這つて行く始末でした。床の中で六十年あまりの月日をふりかえり、後悔と苦しみを味わい歩ける事の大切さを身にしみて知らされました。お大師様に助け頂こうと思ひ立ち般若心経を昼も夜も一生懸命に唱えました。やつと杖をついて歩ける様になつたその頃に金剛護護詠歌の講員さん

のお四国巡りが津守先生(東寿院の住職)の企画で参拝になる事がまりました。まだ十分に歩けない私でしたが、小川さん、水野さん達からお大師様の道は大丈夫、歩けますから元氣を出しましょうと、さつと下さつて不安をもつたままのお四国巡りの二泊三日の行事に参加しました。

想像以上に苦しいお山もありました。もう駄目と座りこみたい時もありました。皆さんで前から後から声をかけてはげまして下さつて大師様の歩まれた道を杖のちびる程、一生けんめいについて行きました。

驚いた事に両方の靴の先に大きな穴があいていました。それ以上によるこびが歩ける様になつたのです。お四国参りをさせてもらつてお大師様に歩く事と足を頂いて帰つたのです。それから二年の間に結願の大窪寺まで無事に講員の方達と護護詠歌を唱えながら楽しい旅でおりました。私の一生の思い出として残るでしょう。これから何年歩ける事が出来るか分かりませんが、お大師様に頂いた歩ける事よこびを一生大事にしたいと思ひます。 合掌

土砂加持

朝日寺檀信徒の総先祖供養とも言うべき土砂加持法会が、七年ぶりに結衆寺院僧侶の参加のもと、とり行なわれました。当日はあいにくの雨模様で、稚児行列やもち投げは出来ませんでした。多くの方々の参加で客殿の修復を祝いました。

墓地

朝日寺を間近に望む高台に新墓地を造成しています。一区画七・五平米(三米×二・五米)四十五万円、管理費三千六百円(一年)です。車も墓地内まで乗り入れ可能です。ご必要な方はご相談下さい。 また子供さんのない方、後継のない方等の為に寺の方で全てのお祭りをする永代供養塔を建立しています。こちらの方もご相談下さい。



一月十五日(十時より)

おすなふみ 大護摩祈願

去年、新聞、テレビで朝日寺の四国八十八ヶ所おすなふみ霊場が紹介され、ほうぼうからお参りがあります。当日はおすなふみをし、護摩の火に願いを書き入れた護摩木を投げ込み、福引(特賞はお大師さま掛軸)を引いていただきます。又、薬師せんべいのお接待もあります。古いお札等もお持ち寄り下さい。



役員名簿

総代会 (◎総代長、○副総代長)

- | | | | | | | | | | |
|------|------|-------|------|------|------|------|------|------|------|
| 尾張 | 前泊 | 問口 | 高助 | 庄内 | 大土井 | 西市場 | 中東 | 大東 | 敷井 |
| 種草立司 | 山根俊雄 | 内田雄大 | 久本太郎 | 市守用二 | 千種司郎 | 三浦謹次 | 児玉正一 | 川野健郎 | 川野重 |
| 松下隆 | 松下隆 | 山本清四郎 | 木村功 | 内田稲生 | 川野末子 | 川野重 | 心光正美 | 坂口鶴一 | 藤本太郎 |

密教婦人会

(◎会長、○副会長、△会計)

- | | | | | | | | | | |
|------|------|------|-------|-------|-------|------|-------|-------|-------|
| 尾張 | 前泊 | 問口 | 高助 | 庄内 | 大土井 | 西市場 | 中東 | 大東 | 敷井 |
| 今吉君子 | 木村久栄 | 内田律子 | 久本美知生 | 藤中ひさみ | 三浦真知子 | 松小夜子 | 胤草小夜子 | 松井和代 | 川野満子 |
| | | | | | | | | 坂口美智子 | 山下イセ子 |
| | | | | | | | | 坂岡雪子 | 山本春子 |
| | | | | | | | | 松井花津枝 | 田中仲子 |
| | | | | | | | | 政田佑子 | 森部夏野 |
| | | | | | | | | 久本光子 | |

